

## 第2次鳥栖市環境基本計画（後期計画）平成30年度事業評価・令和元年度事業計画書

### 【取組の柱1 みどり・生き物を大切に作る】

#### ◆山林・丘陵などの保全、自然環境と調和した市街地形成

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
			項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	都市計画による 規制・誘導  都市計画課	自然環境と都市機能が調和した住みやすいまちづくりのため、区域区分及び用途地域等による規制と誘導を行います。	子ども	-	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	区域区分及び用途地域等を継続的に運用し、建築物等の規制と誘導を行い、適正な都市計画の運用を行うことができた。
			協働	-							
			情報	ホームページ、パンフレット、窓口での案内		実績	実施				

#### ◆街なかの緑の保全・創出

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
			項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	環境保全等奨励金の交付  商工振興課	「鳥栖市事業所等の立地奨励に関する条例」に基づき、流通業務団地へ進出する流通関連施設設置者が緑地等を整備した場合に奨励金を交付します。	子ども		該当する施設が設置された場合に実施する	計画	実施	実施	実施	実施	企業の進出時期により、交付時期については、偏りがあるものの、ほぼ毎年度交付実績があり、流通業務団地の緑地等の整備に寄与しているものと考えられる。
			協働	対象企業に補助							
			情報			実績	実施(1社)				
継続	花の日イベント  都市計画課	苗木・肥料等の配布、フラワーアレンジメント、ガーデニング教室等を行います。	子ども	自然保護意識、緑化意識を育む	市民、各種団体、事業所等と協力して開催する	計画	「花の日」開催	「花とみどりの祭り」開催	「花とみどりの祭り」開催	「花とみどりの祭り」開催	R元年度より新たに「花とみどりの祭り」を開催する予定である。
			協働	鳥栖市花とみどりの推進協議会と共催							
			情報	市報、ホームページ、広報紙		実績	開催				
継続	名木樹等の指定  都市計画課	名木樹等を指定し、保存に努めます。	子ども		指定及び必要な指導と助言などをする	計画	実施	実施	実施	実施	樹齢が重なるにつれて全体的に管理の負担が大きくなっているのが課題である。
			協働								
			情報	ホームページ、窓口に掲示		実績	実施				

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	緑化推進状況の 広報	緑化事業の内容や、地元やボランティア団体の緑化推進の活動状況を周知します。	子ども	市報等に掲載する	計画	実施	実施	実施	実施	鳥栖市花とみどりの推進協議会などと連携をとり継続していきたい。
	協働		市報、ホームページ、 広報紙							
都市計画課	情報	事業実施		計画	実施	実施	実施	実施		
継続	人生記念樹の贈 呈		市民の出生を祝福して記念の苗木（もちの木、さざんか、つつじ、もくせい）を贈り、緑化啓発と郷土緑化推進を図ります。						子ども	
	協働	対象者に案内		実績	実施					
都市計画課	情報		事業実施			計画	実施	実施	実施	実施

◆自然や生き物に親しむ機会・場所・きっかけづくり

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	自然観光施設の 利用促進	自然観光施設（御手洗の滝、沼川河川プール、四阿屋）を適切に整備・管理し、利用促進を図ります。	子ども	親水施設来場者数を年間48,000人以上にする	計画	48,000人	48,000人	48,000人	48,000人	情報発信を行い集客に努めたが、台風や降雨のために利用者が減り、目標に届いていない。今後は、更なる利便性向上を検討したい。
	協働		市報、ホームページ							
商工振興課	情報	参加人員を年間30組にする		計画	30組/年	30組/年	30組/年	30組/年		
継続	親子で川の生き 物調査隊		小学生とその保護者を対象とし、河川水質の指標となる水生生物を調査します。また、基山町と連携し開催することで、両市町民の交流の場としての効果も期待します。						子ども	
	協働	市報、ホームページ、窓口に案内設置、小学生に案内配布		実績	43組					
環境対策課	情報		各公園の安全確認と保守点検巡回の実施			計画	実施	実施	実施	実施
継続	公園・緑地施設 の整備点検	公園緑地の安心安全のため施設の整備・点検を行います。		子ども	各公園の安全確認と保守点検巡回の実施					
	協働		市報、ホームページ、窓口に案内設置、小学生に案内配布	実績		実施				
都市計画課	情報	各公園の安全確認と保守点検巡回の実施			計画		実施	実施	実施	実施

【取組の柱2 水を大切にする】

◆節水意識の向上

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
			項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	浄水場見学会 事業課	浄水場見学会を行い、水道水の製造工程や水資源の有限性等を説明し、節水を啓発します。	子ども	水道水の製造工程を学んでもらう	毎年度実施する	計画	—	—	実施	実施	R元年度まで施設更新工事を行い、安全性が確保できないため実施出来ないが、R2年度からは実施予定である。
			協働								
			情報	市報、ホームページ、報道機関への情報提供		実績	未実施				
継続	水道週間 事業課	毎年6月上旬の「水道週間」にあわせ、小・中学校やまちづくり推進センターなどに水道週間ポスター・水道壁新聞を送付します。	子ども	水質保全や水の大切さを伝える	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	ポスター等を配布し、水道についての関心、興味をもってもらうことで、水質保全や節水につながっている。
			協働								
			情報	市報、横断幕作成、窓口にチラシ設置		実績	実施				

◆排水などによる水環境への負荷の削減

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
			項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	環境保全協定 環境対策課	事業者と環境保全協定を締結し、水質汚濁防止を推進します。	子ども		事業所等から要望がある都度、締結する	計画	実施	実施	実施	実施	環境保全協定の締結を要望する事業者がある場合は、その都度、環境保全協定を締結している。公害防止の観点からも有用なので、今後も続けていく。
			協働								
			情報			実績	実施(2社)				
継続	エコファーマー 農林課	「鳥栖市環境保全型農業推進方針」に基づき、エコファーマーの育成、有機栽培、低農薬栽培等を進めます。	子ども		エコファーマーの取得件数を50件以上にする	計画	49件	50件	50件	50件	安心して食べることができる農作物を消費者に提供するため、今後も農業者に対して、エコファーマーや有機栽培、低農薬栽培等を周知するように努める。
			協働								
			情報			実績	22件				
継続	水洗化の促進 事業課	河川環境の向上のため、文書及び訪問により、各家庭や事業場の水洗化を促進します。	子ども		水洗化世帯数を91.5%以上にする	計画	90.6%	90.9%	91.3%	91.3%	水洗化世帯は目標値の90.0%を超えており、促進の効果が出ている。
			協働								
			情報	ホームページ		実績	92.0%				

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	浄化槽設置への補助金交付	公共下水道事業認可区域や、農業集落排水整備区域を除く地域の方が浄化槽を設置された場合に、補助金を交付します。	子ども	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	1件の浄化槽設置の補助をしており、区域外の水質改善に寄与している。
	協働		実績			実績(1件)				
	事業課		情報							
継続	公共下水道の整備	「佐賀県下水道等整備構想」に基づき公共下水道の整備を行うとともに、公共下水道未整備区域については年次的に整備を行います。	子ども	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	—	未整備区域について、毎年整備を行っており、R2年度末には整備を終える予定である。
	協働		実績			実績				
	事業課		情報		ホームページ					

◆水環境の調査・監視

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	水質の環境調査・監視	河川や地下水等の水質環境調査を定期的に行い、水環境の監視を行います。	子ども	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	H30年度は河川13箇所、地下水4箇所水質検査をし、市民の安全・安心に資している。検査数値に異常が見られなかったが、今後も監視していく。
	協働		実績			実績				
	環境対策課		情報		ホームページ					

◆水辺の生き物とふれあい、守る機会の増加

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	自然観光施設の利用促進	自然観光施設（御手洗の滝、沼川河川プール、四阿屋）を適切に整備・管理し、利用促進を図ります。	子ども	親水施設来場者を年間48,000人以上にする	計画	48,000人	48,000人	48,000人	48,000人	情報発信を行い集客に努めたが、台風や降雨のために利用者が減り、目標に届いていない。今後は、更なる利便性向上を検討したい。
	協働		実績			41,982人				
	商工振興課		情報		市報、ホームページ					

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	親子で川の生き物調査隊	小学生とその保護者を対象とし、河川水質の指標となる水生生物を調査します。また、基山町と連携し開催することで、両市市民の交流の場としての効果も期待します。	子ども	水質に関する理解を深める	参加人員を年間30組にする	計画	30組/年	30組/年	30組/年	30組/年	市内小学校対象児童に案内チラシを配布したことにより多数の応募者があった。今後は、より多くの方々に参加していただけるよう開催方法を検討する。
	協働		鳥栖市環境保全協議会と共催								
	環境対策課		情報	市報、ホームページ、窓口に案内設置、小学生に案内配布		実績	43組				
継続	河川の清掃美化活動	市民や事業者に参加を呼びかけ、清掃美化活動を行います。	子ども	河川に対する美化意識を育む	参加者数を年間200人以上にする	計画	200人	200人	200人	200人	今年度は目標値を達成できなかったが、多数の方に参加いただけるよう広報に力を入れながら今後も継続して実施する。
	協働		鳥栖市環境保全協議会と共催								
	環境対策課		情報	市報、ホームページ、全戸回覧、窓口にチラシ設置		実績	151人				

### 【取組の柱3 きれいな街なみをつくる】

#### ◆市全域における景観保全の方針づくり

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	景観保全先進事例研究	景観保全の方針づくりのために先進事例を調査します。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	今年度は景観法行政セミナー（国・佐賀県共催）には参加できなかったが、機会を捉え参加し景観法及び景観保全施策の事例を把握したい。
	協働		関係団体との意見交換								
	都市計画課		情報			実績	未実施				

#### ◆景観や街なみの保全に対する関心・理解度の向上

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	自然観光施設の利用促進	自然観光施設（御手洗の滝、沼川河川プール、四阿屋、とんぼ公園等）を適切に整備・管理し、利用促進を図ります。	子ども		親水施設来場者を年間48,000人以上にする	計画	48,000人	48,000人	48,000人	48,000人	情報発信を行い集客に努めたが、台風や降雨のために利用者が減り、目標に届いていない。今後は、更なる利便性向上を検討したい。
	協働										
	商工振興課		情報	市報、ホームページ		実績	41,982人				

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
			項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
	継続	長崎街道まつり 商工振興課	長崎街道まつりの開催に協力し、市民が歴史・文化と触れ合う機会を創出します。	子ども 協働 情報	歴史を感じ景観に対する美化意識を育む 長崎街道まつり実行委員会に参加 市報、ホームページ、全戸回覧、窓口にチラシ設置	来場者数を5,000人以上にする	計画 実績	5,000人 5,000人	5,000人 5,000人	5,000人 5,000人
継続	景観啓発講演会 都市計画課	景観について学び、考えるための講演会を実施します。	子ども 協働 情報	関係団体との共催 市報、ホームページ、チラシ配布	毎年度1回実施する	計画 実績	1回/年 未実施			H25年度以降講演会は実施できていない。
継続	まちなみの修景 都市計画課	朝日山自然林の展望の確保や、駅前・本通筋商店街等に花植えを設置する等、身近な修景場所を演出します。	子ども 協働 情報	ホームページ	毎年度実施する	計画 実績	実施 実施	実施 実施	実施 実施	観光地の魅力として、朝日山からの展望確保は必要である。また、市民に花やみどりによる癒しをもたらしているため、今後も継続して行っていきたい。
一部修正	鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座 生涯学習課	座学と現地見学による講座を年間8回程度開催し、鳥栖の歴史と文化遺産について学び、歴史的文化遺産の保存活用を進めます。	子ども 協働 情報	鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座実行委員会への委託 市報、ホームページ	毎年度実施する	計画 実績	実施 実施	実施 実施	実施 実施	明治維新150年記念事業の一環として、全5回の講座を開催した。継続的な参加者に加え、新規の参加者が20%を占めた。
継続	郷土資料講座 生涯学習課	江戸時代の古文書を解説する講座2コースを毎月2回程度開催し、鳥栖の歴史・文化に触れる機会とします。	子ども 協働 情報	鳥栖郷土研究会からの講師派遣 市報、ホームページ	毎年度実施する	計画 実績	実施 実施	実施 実施	実施 実施	古文書講座を年間24回開催した。継続的な参加者に加え、新規の参加もみられる。
継続	文化財常設展示 生涯学習課	市が所蔵する文化財資料や発掘調査の成果等を内容を替えながら年間を通して展示し、歴史文化遺産の積極的な活用を進めます。	子ども 協働 情報	市報、ホームページ、報道機関への情報提供	毎年度実施する	計画 実績	実施 実施	実施 実施	実施 実施	市立図書館常設展示場の展示入替を3回実施して、文化財の積極的な公開活用に努めた。

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	ふるさと元気塾	勝尾城筑紫氏遺跡等の文化財や自然環境を活かしたまちづくりを進めるため、その担い手となるボランティアガイドやアドバイザーを養成します。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	ボランティアガイドの育成や勝尾城筑紫氏遺跡の見学会でのガイド、弥生まつりなど様々な行事で鳥栖の文化財の紹介ならびに啓発に努めている。
	協働		ボランティア団体へ委託							
	情報		市報、ホームページ、広報、報道機関への情報提供、チラシ配布							
継続	勝尾城筑紫氏遺跡保存整備	勝尾城筑紫氏遺跡の保存及び整備活用を、史跡と自然環境が調和した形で進め、年2回史跡見学会を開催します。また他の団体と共同して史跡の保存活用と山林育成のイベントを3回開催します。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	年2回の見学会を実施し、史跡の適切な保存・管理を行った。また、史跡の整備活用をテーマとしたワークショップを3回実施した。
	協働		史跡の管理委託、ボランティア団体による案内、実行委員会							
	情報		市報、ホームページ、広報、報道機関への情報提供							

◆ポイ捨てや不法投棄対策の推進

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	道路の清掃美化活動	市民や事業者に参加を呼びかけ、道路の清掃美化活動を行います。	子ども	街なみに対する美化意識を育む	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	今年度は4回実施した。市民等の環境美化意識を育むために、今後も継続して実施する。
	協働		鳥栖市環境保全協議会と共催							
	情報		市報、ホームページ、全戸回覧、窓口にチラシ設置							
継続	不法投棄防止パトロール	不法投棄防止パトロール員による監視・パトロール等を行いながら、不法投棄の早期発見及び早期回収を行うことで、不法投棄をさせない・許さない雰囲気づくりを行います。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	H30年度の不法投棄発見件数は36件で昨年度から11件減少した。今後も不法投棄防止パトロール員による監視や不法投棄防止看板の配布を行いながら啓発を行っていく。
	協働		佐賀県廃棄物監視員と同行							
	情報									
継続	ボランティアごみ袋の配布	ボランティアでごみ拾いをしている団体等に対し、ボランティア用のごみ袋を配布します。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	ボランティア用ごみ袋の配布数はおおむね一定である。地域の美化に貢献する事業であるため、今後も続けていきたい。
	協働		ボランティア団体等への配布							
	情報									

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	環境月間での清掃活動の呼びかけ	6月の環境月間にあわせ、事業者等に周辺の清掃活動を呼びかけます。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	市内事業所から、環境月間における清掃活動の実績報告をいただいた。期間中の活動に取り組んでいただいているため、今後も継続して実施する。
	協働									
	環境対策課		情報	ホームページ		実績	実施			
継続	道路里親制度	市民が市道の里親となり、ボランティアで清掃等を行う道路里親制度への登録を呼びかけます。	子ども	街なみに対する美化意識を育む	23団体	計画	20団体	21団体	22団体	H30年度において、目標は達成できなかった。今後も加入団体獲得に向けて、市報、ホームページ等で周知していきたい。
	協働		アダプト制度							
	維持管理課		情報	市報、ホームページ		実績	17団体			

#### 【取組の柱4 住環境を守る】

##### ◆住環境への負荷の削減

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	環境保全協定	事業者と環境保全協定を締結し、大気汚染や騒音等の公害防止を推進します。	子ども		事業所等から要望がある都度、締結する	計画	実施	実施	実施	環境保全協定の締結を要望する事業者がある場合は、その都度、環境保全協定を締結している。公害防止の観点からも有用なので、今後も続けていく。
	協働									
	環境対策課		情報			実績	実施(2社)			
継続	主要幹線道路の整備促進	主要幹線道路(国道3号、国道34号、その他主要県道)の整備促進を、国や県へ働きかけ交通渋滞の緩和等の交通環境を改善し、大気汚染等の環境改善を推進します。	子ども		国道・県道整備延長距離(6.5km)	計画	実施	実施	実施	毎年実施することにより、交通渋滞の緩和等の交通環境を改善し、大気汚染等の環境改善に寄与するため、今後も継続していく。
	協働		地元期成会に参加							
	国道・交通対策課建設課		情報			実績	実施			

◆大気・騒音などの調査・監視

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	大気環境調査・監視	大気質等の環境調査を定期的に実施し、大気環境の監視を行います。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	市役所屋上にて降下ばいじんの測定をデポジットゲージ法で行っている。 今年度のばいじん(t/km <sup>2</sup> /30)平均は1.4になっている。今後も継続して実施する。
	協働									
	環境対策課		情報	ホームページ		実績	実施			
継続	騒音環境調査・監視	市内の沿道等において騒音・振動・交通量等の環境調査を実施し、騒音環境の監視を行います。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	H30年度は、鳥栖朝倉線、久留米基山筑紫野線、九千部山公園線の区間延長14.4kmで自動車騒音の環境調査をおこなった。
	協働									
	環境対策課		情報	ホームページ		実績	実施 (県道5区間)			

◆エコドライブやエコカーの普及

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	電気自動車「ビートス号」のPR	各種イベントの公用車として電気自動車「ビートス号」を利用することで、電気自動車のPRを行います。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	ビートス号導入時と比べ、電気自動車の普及が進んでいることから、PRに一定の効果があったと考えられる。今後もイベント時には積極的に利用する。
	協働									
	環境対策課		情報	ホームページ		実績	実施			
継続	とっちゃんのエコライフのススメ	市報やホームページの「とっちゃんのエコライフのススメ」のコーナーで、アイドリングストップ等エコドライブの方法を紹介します。	子ども		市報に毎月掲載する	計画	実施	実施	実施	H30年度は、毎月全12回、市報に掲載した。一定の広報効果があったと考えているため、今後も続けていきたい。
	協働									
	環境対策課		情報	市報、ホームページ、窓口に掲示		実績	実施 (12回)			

◆公共交通や自転車などの利用促進

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	福祉乗車券助成事業	75歳以上と70歳以上の免許証返納者及び免許証失効者に対して、市内全ての路線バスとミニバスに利用できる乗車券を割安で発行し、高齢者の移動手段の確保とバス利用を促進します。	子ども		実購入者数を600人以上にする	計画	実施	実施	実施	実施	市内の全路線を対象とし、H26年度より本格実施している。高齢者の移動手段の確保とバス利用促進のため今後も継続して実施する。
	協働			(585人)			(605人)	(625人)			
	社会福祉課		情報	市報、ホームページ、バス内に掲示		実績	509人				
継続	道路新設改良	改修する際は、歩行者や自転車の歩行・走行環境に配慮した道路整備を進めます。	子ども		市道轟木・衛生処理場線ほか1路線の道路新設改良事業進捗率(事業費ベース)：88%	計画	42%	63%	78%	78%	市道轟木・衛生処理場線ほか1路線の調査設計等を実施した。今後も歩行者や自転車の歩行・走行環境に配慮した道路整備を進めるために事業進捗に努めます。
	協働										
	建設課		情報			実績	19%				
継続	路線バスの利用促進	路線バス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止策に寄与します。	子ども		利用者数を年間12.0万人以上にする	計画	11.4万人	11.7万人	12.0万人	12.0万人	路線バス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止に一定の成果があり、今後も継続が必要と考える。
	協働										
	国道・交通対策課		情報	市報、ホームページ、広報紙		実績	11.8万人				
継続	ミニバスの利用促進	ミニバス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止策に寄与します。	子ども		利用者数を年間24.0千人以上にする	計画	21.3千人	22.7千人	24.0千人	24.0千人	ミニバス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止に一定の成果があり、今後も継続が必要と考える。
	協働										
	国道・交通対策課		情報	市報、ホームページ、広報紙		実績	18.1千人				

【取組の柱5 地球温暖化を防ぐ】

◆「鳥栖市地球温暖化対策実行計画 区域施策編」の運用

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	鳥栖市地球温暖化対策実行計画 区域施策編の運用	鳥栖市地球温暖化対策実行計画 区域施策編を運用します。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	H30年度版の環境レポートを作成し、ホームページで公表した。
	協働									
	環境対策課		情報	ホームページ		実績	実施			

◆エコライフの推進

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	環境マネジメントシステム説明会	事業者に対し、エコ・オフィスやごみ減量を普及啓発するため、説明会を行います。	子ども		毎年度実施する	計画	年1回	年1回	年1回	事業者全体への説明会は開催していないものの、H30年度に新たに環境保全協定を締結した事業者に対してエコ・オフィスの紹介やごみ減量の普及啓発を行った。
	協働									
	環境対策課		情報	市報、ホームページ、企業へ案内郵送		実績	未実施			
継続	環境保全協定	事業者と環境保全協定を締結し、地球温暖化防止を推進します。	子ども		事業所等から要望がある都度、締結する	計画	実施	実施	実施	環境保全協定の締結を要望する事業者がある場合は、その都度、環境保全協定を締結している。公害防止の観点からも有用なので、今後も続けていく。
	協働									
	環境対策課		情報			実績	実施(2社)			
継続	とっとなちゃんのエコライフのススメ	市報やホームページの「とっとなちゃんのエコライフのススメ」のコーナーで、節電の方法等環境に配慮した行動を紹介します。	子ども		市報に毎月掲載する	計画	実施	実施	実施	H30年度は、毎月全12回、市報に掲載した。一定の広報効果があったと考えているため、今後も続けていきたい。
	協働									
	環境対策課		情報	市報、ホームページ、窓口に掲示		実績	実施(12回)			

◆省エネ製品や、環境に配慮した建物の普及

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	とっちゃんのエコライフのススメ	市報やホームページの「とっちゃんのエコライフのススメ」のコーナーで、省エネ製品を紹介します。	子ども		市報に毎月掲載する	計画	実施	実施	実施	実施	H30年度は、毎月全12回、市報に掲載した。一定の広報効果があったと考えているため、今後も続けていきたい。
	協働										
	環境対策課		情報	市報、ホームページ、窓口に掲示		実績	実施 (12回)				

◆環境に優しい移動手段の普及

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	福祉乗車券助成事業	75歳以上と70歳以上の免許証返納者及び免許証失効者に対して、市内全ての路線バスとミニバスに利用できる乗車券を割安で発行し、高齢者の移動手段の確保とバス利用を促進します。	子ども		実購入者数を600人以上にする	計画	実施 (585人)	実施 (605人)	実施 (625人)	実施	市内の全路線を対象とし、H26年度より本格実施している。高齢者の移動手段の確保とバス利用促進のため今後も継続して実施する。
	協働										
	社会福祉課		情報	市報、ホームページ、バス内に掲示		実績	509人				
継続	路線バスの利用促進	路線バス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止策に寄与します。	子ども		利用者数を年間12.0万人以上にする	計画	11.4万人	11.7万人	12.0万人	12.0万人	路線バス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止に一定の成果があり、今後も継続が必要と考える。
	協働										
	国道・交通対策課		情報	市報、ホームページ、広報紙		実績	11.8万人				
継続	ミニバスの利用促進	ミニバス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止策に寄与します。	子ども		利用者数を年間24.0万人以上にする	計画	21.3千人	22.7千人	24.0千人	24.0千人	ミニバス利用を促進することで、交通渋滞の緩和等、交通環境を改善し、大気汚染や騒音等の公害防止に一定の成果があり、今後も継続が必要と考える。
	協働										
	国道・交通対策課		情報	市報、ホームページ、広報紙		実績	18.1千人				

【取組の柱6 ごみを減らす】

◆4R運動の推進

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
			項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	とっとちゃんの ごみ減量速 報！！  環境対策課	ごみの排出量抑制と資源物回収の徹底を図るため、1人当たりごみ排出量と資源物の回収量を市報等で広報します。	子ども		市報に毎月掲載する	計画	実施	実施	実施	実施	毎月市報に掲載している。とっとちゃんのエコライフと共に、環境保全の意識向上に一定の効果があると考えている。
			協働								
			情報	市報、ホームページ							
継続	生ごみ処理機購入補助  環境対策課	生ごみ処理機の購入費の一部を補助します。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	H30年度は30件の補助を行った。ごみ減量と循環型社会の推進にも効果があると思われ、今後も事業を継続していきたい。
			協働								
			情報	市報、ホームページ							
継続	広域ごみ処理連絡会議  環境対策課	鳥栖市、上峰町、みやき町の1市2町で定例会議を開き、資源物の分別等の基本施策の推進方法、ごみ発生抑制のための施策の検討等を協議します。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	ごみ減量の意識向上について、一定の成果があったと考えているため、今後も事業を継続していきたい。
			協働	上峰町、みやき町と情報交換							
			情報								
継続	環境保全協定  環境対策課	事業者と環境保全協定を締結し、廃棄物の適正処理や資源物の分別収集を推進します。	子ども		事業所等から要望がある都度、締結する	計画	実施	実施	実施	実施	環境保全協定の締結を要望する事業者がある場合は、その都度、環境保全協定を締結している。公害防止の観点からも有用なので、今後も続けていく。
			協働								
			情報								
継続	市民活動団体が行うイベントへの後援  環境対策課	フリーマーケット、環境講演会等、市民活動団体が開催する各種イベントを後援します。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	市民活動団体主催のフリーマーケットや鳥栖・三養基西部環境施設組合主催の環境フェアに後援を行った。今後も継続して実施する。
			協働	市民活動団体への後援							
			情報								

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)						
			項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度							
継続	エコ・ショップ またはエコ・オ フィスの指定 環境対策課	環境保全の取組に関し、指定要件を満たしている市内の店舗・事業者を、エコ・ショップまたはエコ・オフィスとして指定します。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	エコ・ショップ及びエコ・オフィス制度の広報周知により件数の増加を図っていきたい。					
			協働									実績	実施 (26社)			
			情報	ホームページ												
継続	マイバック・ ノーレジ袋の推 進 環境対策課	マイバックの利用推進やレジ袋利用の削減のため、小売業者等に普及啓発を行います。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	県が主導して行っている施策であり、市としても今後も、ホームページや市民・事業者に対して広報周知を行っていきたい。					
			協働									実績	実施			
			情報	ホームページ												
継続	ごみ分別アプリ の啓発 環境対策課	市民が、ごみの分別をスマートフォン等の情報機器を使って、手軽に調べることが出来るように啓発する。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	アプリのメンテナンスは随時行っており、市民への更なる普及・啓発に力を入れていきたい。					
			協働									実績	実施			
			情報	ホームページ、ごみカレンダー												

◆資源回収の推進

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)						
			項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度							
継続	コンテナ収集・ 美化活動推進奨 励金 環境対策課	各町区で実施する資源物コンテナ収集や、美化活動に対して奨励金を交付します。	子ども		活動の継続	計画	実施	実施	実施	実施	市の人口増加に伴い、交付世帯数も年々増加している。資源物回収や町区の美化活動を推進していく意味で、今後も事業を継続していきたい。					
			協働	町区へ奨励金交付								実績	実施 (25,723世帯)			
			情報													
継続	資源回収推進奨 励金 環境対策課	市民団体が実施する資源回収活動に対して奨励金を交付します。	子ども		活動の継続	計画	実施	実施	実施	実施	資源回収団体数はある程度増えたので、今後は、資源回収団体の広報を行い、多くの人に参加・利用してもらえ環境作りに取り組んでいきたい。					
			協働	市民団体への奨励金交付								実績	実施 (93団体)			
			情報													

◆ごみ処理に関する新たな取組の検討

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
			項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	広域ごみ処理連絡会議 環境対策課	鳥栖市、上峰町、みやき町の1市2町で定例会議を開き、資源物の分別等の基本施策の推進方法、ごみ発生抑制のための施策の検討等を協議します。	子ども	上峰町、みやき町と情報交換	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	ごみ減量の意識向上について、一定の成果があったと考えているため、今後も事業を継続していきたい。
			協働								
			情報								
						実績	実施 (1回)				

【取組の柱7 行動する人を育てる】

◆ライフステージや立場に応じた環境教育の実施

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
			項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	出前講座の受付 市民協働推進課	環境に関する出前講座の依頼があった際は、職員を派遣し充実した講座を行います。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	環境保全の取組意識を高めていくきっかけとなっているため、今後も続けていきたい。
			協働								
			情報								
						実績	実施 (11回)				
継続	地区組織（食生活改善）活動 健康増進課	小学校やまちづくり推進センターなどで、食糧資源を大切に、様々な体験活動を通して食育に関する意識・知識を普及します。	子ども	様々な体験活動を通して食に関心をもつ。	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	参加者には、調理実習を通して食材を無駄なく大切に使うという意識が伝わった。今後も、継続していく。
			協働	食生活改善推進協議会に委託							
			情報								
						実績	親子料理8回 地区伝達16回				
継続	ヘルスマイト養成講座での環境教育 健康増進課	主に健康をテーマとするヘルスマイト養成講座の中で、リサイクル推進等についての環境教育を行います。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施しない	実施	講座の中で環境教育を取り入れており、すぐに実践できる分かりやすい内容となっている。今後も継続していく。
			協働								
			情報								
						実績	実施 (8名)				
継続	環境問題講座の開催 市民協働推進課	まちづくり推進センター主催事業として、環境問題をテーマとする講座を開催します。	子ども	環境に対する理解を深める	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	環境保全の取組意識を高めていくきっかけとなっているため、今後も続けていきたい。
			協働								
			情報	市報、まちづくり推進センター広報誌							
						実績	実施 (60回)				

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	子どもを対象とした環境問題教室の開催	放課後子ども教室の一部で、環境問題をテーマとする教室を開催します。	子ども	環境に対する理解を深める	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	環境保全の取組意識を高めていくきっかけとなっているため、今後も続けていきたい。
	協働									
	市民協働推進課		情報	市報、まちづくり推進センター広報誌		実績	実施 (19回)			
継続	自然学習の体験活動	市村自然塾九州の協力を得て、子どもたちを対象にものづくりの楽しさや豊かな自然を体験する宿泊自然体験学習を実施します。	子ども	ものづくりの楽しさや自然を守る意識を育む	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	オリエンテーリングなどを通して、河内町の自然を体験する機会となった。また、食事の話を通して、食べ物や関わる人達に感謝する気持ちをはぐむことができた。
	協働		市村自然塾九州と共催							
	生涯学習課		情報			実績	実施 (1回)			

◆教育現場における環境教育の推進

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	地球温暖化講座	市内の全小学校において、地球温暖化の仕組みや対策を紹介する講座を行います。	子ども	地球温暖化への理解を深め、行動に結びつける	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	講座を受ける児童の反応も良く、各家庭における地球温暖化防止に対する意識の広がりを感じている。今後も事業を継続していきたい。
	協働									
	環境対策課		情報	報道機関への情報提供		実績	実施 (8回)			
継続	職場体験学習の受入れ	中学校等から、資源物回収等の職場体験学習を受け入れます。	子ども	環境保全の意識を育む	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	職場体験では、中学生が働くことの意義を学ぶだけではなく、環境を守る意識も育まれている。今後も事業を継続していきたい。
	協働									
	環境対策課		情報			実績	実施 (2人)			
継続	ポスターコンクール	小学生、中学生を対象に環境保全と3R促進に関するポスターを募集します。	子ども	環境保全の意識を育む	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	児童生徒が環境保全に関心を持つきっかけになることから、今後も事業を継続していきたい。
	協働		鳥栖市環境保全協議会と共催							
	環境対策課		情報	市報、入選作を市役所で展示		実績	実施			

継続	自然に感動する心を育む教育	総合的な学習、特別活動、学校行事等で行われている自然体験活動、環境に関わる奉仕活動を、継続して取り組むよう各学校を指導します。	子ども	体験を通じて自然に感動する心を育む	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	H30年度は、全ての小学校で田植え・稲刈り体験を、基里小では茶摘みも行っている。今後も総合的な学習などで行われている、自然体験活動等で、事業を継続していきたい。
	学校教育課		協働	情報		実績	実施				
継続	環境教育に関わる情報の提供	環境教育に関わる情報を収集し、各教科の環境学習に役立ててもらえるよう、各学校に提供します。	子ども	環境に関心をもってもらう	毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	H30年度は、市内の小中学校7校がバス旅行でのリサイクルプラザ見学等を実施した。今後は全学校実施し、各教科の環境学習に役立つよう、各学校へ情報を提供していきたい。
	学校教育課		協働	情報		実績	実施				

◆環境情報の提供体制の充実

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	環境レポートの作成	環境レポートを作成します。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	平成30年度版の環境レポートを作成し、ホームページで公表した。
	環境対策課		協働	情報		実績	実施				

◆環境教育の拠点づくり

状況	事業名	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
	担当課		項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	まちづくり推進センターにおける環境教育の場の提供	環境教育をはじめとする生涯学習の場として、まちづくり推進センターの活用を進めます。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	多くの方々が利用するまちづくり推進センターにおいて、環境をテーマとした講座や教室を定期的実施することで、地域における環境教育の拠点としての機能を担う事ができた。
	市民協働推進課		協働	情報		実績	実施				
継続	図書館視聴覚室における環境教育の場の提供	環境関連をはじめとする講演会の場として、視聴覚室の活用を進めます。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	読書施設としての機能だけでなく、環境関連の学習の場として、視聴覚室、集会室等の利用を提供していきたい。
	生涯学習課		協働	情報		実績	実施				

【取組の柱8 環境を守る取組を応援する】

◆市民活動団体が行う環境保全取組の応援

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
			項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	市民活動団体ガイドブックの作成 市民協働推進課	市内を中心に活動するNPOやボランティア団体の情報をまとめたガイドブックを作成します。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	市民活動ガイドブックの作成を行った。市民活動の情報提供を行うことにより、市民活動の機会提供のきっかけとなっているため、今後も続けていきたい。
			協働								
継続	市民活動支援補助金 市民協働推進課	市民活動団体が自主的かつ主体的に行う公益的な事業に要する経費の一部を補助します。また、事業に対する助言・協力も行います。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	市民活動団体の立ち上がりにおける基盤強化、事業の活性化、協働化を支援するものであり、今後も事業内容を見直しながら継続していきたい。
			協働	市民活動団体に補助							
継続	とす市民活動センターの運営 市民協働推進課	市民相互及び市民と行政との協働によるまちづくりを推進するため、市民活動への参加啓発、市民活動団体育成・支援等、様々な市民活動情報発信基地としての機能充実を図ります。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	広報誌等での市民活動の情報発信、各種事業での市民活動への啓発や団体の育成等を実施し、様々な市民活動情報発信基地として機能している。今後も支援していきたい。
			協働								
継続	市民活動団体が行うイベントへの後援 環境対策課	フリーマーケット、環境講演会等、市民活動団体が開催する各種イベントを後援します。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	実施	市民活動団体主催のフリーマーケットや鳥栖・三養基西部環境施設組合主催の環境フェアに後援を行った。今後も継続して実施する。
			協働	市民活動団体への後援							

◆事業者が行う環境保全取組の応援

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)	
			項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
継続	環境保全等奨励金の交付 商工振興課	「鳥栖市事業所等の立地奨励に関する条例」に基づき、流通業務団地へ進出する流通関連施設設置者が緑地等を整備した場合に奨励金を交付します。	子ども		該当する施設が設置された場合に実施する	計画	実施	実施	実施	実施	企業の進出時期により、交付時期については、偏りがあるものの、ほぼ毎年度交付実績があり、流通業務団地の緑地等の整備に寄与しているものと考えられる。
			協働	対象企業に補助							

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
			項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	エコ・ショップ またはエコ・オ フィスの指定 環境対策課	環境保全の取組に関し、指定要件を満たしている市内の店舗・事業者を、エコ・ショップまたはエコ・オフィスとして指定します。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	エコ・ショップ、エコ・オフィス制度の広報周知により件数の増加を図っていきたい。
			協働				実績	実施 (26社)		
			情報	ホームページ						
継続	エコファーマー 農林課	「鳥栖市環境保全型農業推進方針」に基づき、エコファーマーの育成、有機栽培、低農薬栽培等を進めます。	子ども		エコファーマーの取得件数を50件以上にする	計画	49件	50件	50件	安心して食べることができる農作物を消費者に提供するため、今後も農業者に対して、エコファーマーや有機栽培、低農薬栽培等を周知するように努める。
			協働				実績	22件		
			情報							

◆鳥栖市環境保全協議会が行う環境保全取組の応援

状況	事業名 担当課	事業内容	取組で重視する3つの視点		R3年度までの目標	年度別の計画・実績				事業評価 (H30年度末)
			項目	内容		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
継続	鳥栖市環境保全協議会への補助金交付 環境対策課	生活環境の保全や資源循環型社会の形成を目的とした啓発活動等を行う鳥栖市環境保全協議会に対し、補助金を交付します。	子ども		毎年度実施する	計画	実施	実施	実施	市と環境保全協議会共済の環境保全の事業は、市民の環境保全の取組意識を高めるきっかけとなっているため、今後も継続して実施する。
			協働	鳥栖市環境保全協議会へ補助			実績	実施		
			情報							